

南三陸町移住総合支援業務公募型プロポーザル方式審査結果報告書

南三陸町移住総合窓口支援業務公募型プロポーザル方式は、南三陸町総合戦略に掲げる基本目標2「私たちはともに未来を拓く人々が集う家（まち）をつくります」を実現するための重要施策である、「移住総合窓口」受託業者の選定を目的として実施しました。

全国の自治体で地方創生が叫ばれる中、当町においても、町の未来を一緒に拓いていただける移住者の確保は喫緊の課題であり、町と移住希望者のつなぎ手となる移住総合窓口業務に期待される役割は、大変に大きなものがあります。

本プロポーザル方式には、3事業者に御参加いただき、限られた時間の中、それぞれの事業者が移住者獲得という困難な課題に対し、真摯に結果につなげようとアイデアを練り、各自の特徴を反映したプランを御提案いただきました。本プロポーザル方式に御参加いただいたすべての方々に敬意を表します。

審査結果

南三陸町移住総合窓口支援業務に関する公募型プロポーザルについて、選定委員会が公平かつ公正に審査をした結果、次のとおり選定しました。

受託候補者：株式会社インテリジェンス

次 点：一般社団法人南三陸研修センター

次々点：一般社団法人南三陸町観光協会

講評

平成28年6月3日から6月17日までに参加申込を募ったところ、3者から申し込みがあり、提案書の提出を受けました。書類審査と価格の評価・提案内容の評価を行った結果、3者とも一次審査を通過し、二次審査のプレゼンテーション審査で、審査委員によるそれぞれの提案内容の最終的な評価を行いました。この結果をもとに、総評価点のもっとも高い者を受託候補者として選定しました。各提案内容の評価に反映された審査員の評価ポイントは以下のとおりです。

受託候補者：株式会社インテリジェンス

豊富な実績と経験で他者より抜きんでていた。特に成果目標を具体的な数値を持って示した点は評価が高い。事前のリサーチや、分析力も高い水準で、プレゼンテーションでの積極的な姿勢も結果的に高評価につながった。独自提案である近隣市町村との連携は逆効果にならないとも限らないが、一定の期待はできる。地元とのつながりに不安が残るが、移住希望者と地域とのマッチング力に期待したい。

次点：一般社団法人南三陸研修センター

独自提案のコンシェルジュが機動性を持ってどこでも相談できるアイデアは、非常に魅力的であった。地域へ溶け込める人材確保にも期待ができたが、どちらかという地域づくりという観点に比重があるように感じられた。地域性にもっと踏み込んだ提案があればより良かった。目標設定の問いに対し、返答に具体性が欠けていたこともあり、一歩及ばなかった。

次々点：一般社団法人南三陸町観光協会

移住者の確保に対して、ある程度の期待はできた。地域とのつながりがあり、材料は豊富に持っていることは示されたが、それをどうやって活用するのかが、いま一つ明確でなかった。観光に特化した活動実績であり、本業務の専任スタッフ確保の面で他者に及ばず、移住窓口事業を任せることに対し、やや不安が残った。

以上、報告いたします。

平成28年7月15日

南三陸町移住総合支援業務業者選定委員会

委員長 三浦清隆

委員 阿部俊光

委員 高橋一清

委員 三浦 孝

委員 三浦 浩